

会 議 録

1 会議名

第3回上越市青少年健全育成センター運営協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告

- ① 令和4年度 事業・活動報告（公開）
- ② 令和4年度 街頭指導結果報告（公開）
- ③ 育成委員協議会委員アンケート調査のまとめ（公開）
- ④ 若者育成支援事業の進捗状況について（公開）
- ⑤ その他（公開）

(2) 協議

- ① 令和5年度 運営方針と事業計画（案）（公開）
- ② その他（公開）

(3) 情報交換（各機関・団体からの情報提供）（公開）

(4) その他（公開）

3 開催日時

令和5年2月17日（金）午後2時から4時まで

4 開催場所

上越市教育プラザ研修棟2階 中会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：山田 稔、井部佐恵子、市川直行、山本克志、小林 榮、竹内恵市、古川美也子、本間久美子、鈴木真理子、大堀みき、吉岡智宣

・事務局：社会教育課福山副課長、青少年健全育成センター曾我所長、池田指導員、佐藤事務員

8 発言の内容（要旨）

(1) 報告事項

① 令和4年度 事業・活動報告（公開）

資料①をもとに事務局が説明（資料①参照）

（意見なし）

② 令和4年度 街頭指導結果報告（公開）

資料②をもとに事務局が説明（資料②参照）

小林委員：

雅子妃の森の東屋やトイレについて、設備管理の問題がある。水漏れや照明の点検は定期的に行われているのか。

事務局（池田指導員）：

育成委員から報告があった時には、曾我所長から管理担当課へ連絡をしている。点検時に気付いたら直しているが、気を付けて見ていくとの回答を得ている。

小林委員：

東屋には照明が今もないのだろうか。位置的にたむろしやすい場所になっている。以前も同じような話が出ている。

事務局（曾我所長）：

街頭指導は日中や夕方行っている。その時にごみが落ちていれば拾っている。街灯については点灯している時間帯ではないので詳しくは分からない。ごみが散らかっているかことについては、おそらく青少年が関わっているのではないかと考えて、ここに報告した。

吉岡委員：

今、小林会長から施設関連の話が出たが、そのような話題があるなら教えてほしい。金谷山のトイレのいたずらが続いたが、あの界限の情報で共有されているものがあるか。

事務局（池田指導員）：

育成委員役員会で最近の状況について話し合い、そのトイレの話も話題に出た。ただ、金谷山のトイレは街頭指導の該当箇所ではないので詳しくは分か

らない。外部から聞いた情報を参考にして、街頭指導をするときに注意して見ていこうと話し合った。

本間委員：

春日山駅でもボヤ騒ぎがあった。翌日にはもうきれいになっていた。高校生なのか、一般の人がやったのか分からないが、トイレとか密室になっていると悪いことをしたくなるのだろうか。この間、直江津駅南の身障者用トイレで、中に人が入っているらしいのだが、なかなか出てこないことがあったと聞いた。携帯で何か話しているようにも思えたが、気になって5分ほど待ったとのことだった。そういうときは、駅前交番に連絡するようにと話した。

③ 育成委員協議会委員アンケート調査のまとめ

資料③をもとに事務局が説明（資料③参照）

大堀委員：

直江津学びの交流館の欄のその他の意見のところ、コンビニの店員さんから、中学生が下校の途中で買い物をしているのはどうなのかという質問がある。多分、校則ではいけないのではないかと思う。そういう生徒がいれば、見回りはした方がいいと感じた。カラオケも生徒同士ではやはり入ってはいけないと思う。きまりで行ってはいけないというふうになっているところは見回りをした方がよろしいかなと感じた。

事務局（池田指導員）：

多分、校則では、家に帰る前にコンビニで物を買うのはいけないことになっていると思う。ただ、この前、高田駅前街頭指導をした際に中学生がコンビニに入って行ったので事情を聞いたら、これから塾があること、家が遠くて帰ってからまた塾に来ることができないこと、夕飯の時間になるので腹ごしらえをしてから塾で勉強することなどを話してくれた。育成委員は街頭補導でなく、街頭指導を行っている。きまりだからだめだろうでなく、大変だね、がんばってねと育成委員としては言いたい。コンビニの店員さんにまたお会いしたら、そんな話もしてほしいと、このアンケート回答者には伝えてある。

事務局（曾我所長）：

登下校の途中で買い物をしないとか、カラオケ店へ生徒同士では行かない

とか、ゲームセンターも同様だが、中学校の生徒指導担当の方々に、ある程度共通理解されていると思う。山田先生、現在どうなっているか教えていただけないか。

山田委員：

市内の小中学校で統一したきまりといったものはなく、各学校の判断ということになっていると思う。ゲームセンターやカラオケ店への出入りについては、過去に生徒指導上の問題がたくさんあった頃は、夏休み前に学校・警察等連絡協議会の会議で統一した線が出されていて、一切出入りしないというものだった。だが、今はそういう時代ではなく、保護者の責任で判断してもらえばよいという意見が多数である。多くの学校で、出入りするの望ましくないというような表現や保護者の責任でとかいうような表記に変わっていると思われる。

事務局（曾我所長）：

その辺のことを踏まえながら、育成委員の皆さんに街頭指導の声掛けをしてもらいたいと伝えたいと思う。

山田委員：

下校時、塾に行く例を示して頂いた。スマホとか携帯の管理についても同様で、塾の迎えを頼むために必要などの事情を把握したうえでスマホの持参を認めて学校で管理している。帰りの夕食も実態に応じて、保護者と連携して認めているというところが多いのではないか。私の学校では、特にきまりにしていなくても、柔軟に対応してきたと思う。

小林委員：

コンビニの店員さんにしてみれば悩ましい。お腹のすいた子どもに食べるなどとも言えない。それぞれの立場で考えると、色々な意見が出てくると思うが、関係者の皆さんの知恵を出し合っていきたいものだ。

④ 若者育成支援事業の進捗状況について（公開）

資料④をもとに事務局が説明（資料④参照）

大堀委員：

13 ページの下、一番下の相談回数で、9 月以降人数が増えていくというのは、これは理由としてどういったことが考えられるか。

事務局（曾我所長）：

Fit 利用者で相談内容が不登校という人は 2 人と少ないが、全相談者となると 8 人いる。本人からの相談もあるし、保護者からの相談もある。高校生については、夏休みを過ぎて 2 学期に入ってくると、そろそろ単位の取得の見通しについて、ちょっと厳しいかなと思う時期に入る。そこで、この時期になって相談が増える。それ以外にも、不定期で色々な相談が入ってくるが、年度始めからしばらく経ってから、いろんな所へ相談する中で、この時期になって、Fit に繋がるケースもある。

吉岡委員：

Fit の利用者の交通手段の傾向を聞かせてほしい。

事務局（曾我所長）

Fit を運営して 5 年ほど経って色々課題が見えてきている。その一つが今ご指摘のあった交通手段だ。家から Fit までどうやって来るかというと、自分で車を運転してきている人、保護者から送ってもらう人、雪のない時期は高田方面から自転車で週 1 回通っている人などがいる。バスや電車で来るにしても、来やすい所ではない。それが課題の一つになっている。もう少し来やすい環境があれば、利用してもらえる数ももっと増えると思う。

小林委員：

駅前の集まりやすい場所ならいいと思う。

⑤ その他（公開）

（意見なし）

(2) 協議事項

① 令和 5 年度 運営方針と事業報告（案）（公開）

資料⑤をもとに事務局が説明（資料⑤参照）

（意見なし）

（拍手をもって承認）

② その他（公開）

本間委員：

鈴木委員にお伺いしたい。今ちょっと騒がれているヤングケアラーは、上越市にもそういう相談があるのか。

鈴木委員：

ヤングケアラーのことについては、事務局がすこやかにくらし包括支援センターで、相談数の集約を行っている。具体的な人数をお伝えすることはできないが、少し心配なケースとして、小さなお子さんがいるご家庭で、上のお姉ちゃんとかお兄ちゃんが保護者の代わりに面倒を見て、少し学校に遅れて来たりとか、学習する機会がなくなったりという話がいくつか上ってきている。

本間委員：

上越市は子どもに優しいので、そういうことはちゃんとしてくださっているのではないかとと思います。

小林委員：

ヤングケアラーについて、中学校からの情報はるか。

山田委員：

市教委から十分注意するように指導を受けている。実際に虐待を含めて、そういうお子さんの対応に関係機関と連携している学校がある。

小林委員：

関係機関のご苦労は多いと思う。

大堀委員：

先日ちょっと用があって西城病院に行ったが、平日なのに、外来に若い人がいっぱいいて驚いた。先ほど、医師の紹介で Fit を訪ねるという話もあったが、そういったところに Fit のポスターなどを貼っておくと、救われるというか、足がこっちの方に向くようなことがあるかもしれない。

事務局（曾我所長）：

基本的には、Fitに通いたいと電話で相談を受けた時、受診されている方については一応医師にこういう所に通いたいと伝えてもらい、医師が通うことを勧めてくれた場合に、Fitに通ってもらうという段取りになっている。いろんな所に Fit のちらしやリーフレットを置いて PR したいと思っているが、受

診されている方についてはデリケートな問題もあるので、少し慎重に考えて対応していきたいと思う。

(3) 情報交換（各機関・団体からの情報提供）（公開）

本間委員：

山本委員にお聞きしたい。今日、新潟日報の上越版で、特殊詐欺は上越が一番多いと聞いてびっくりした。そのことについて、ちょっと細かく教えてほしい。

山本委員：

その前に少年の話をさせてほしい。昨年、警察が補導したタバコだとか、深夜徘徊で補導した数は、前の年令和2年、3年と比べると、60人位増加した。これは令和2年3年が多分コロナの関係で減っていたということなので、通常に戻りつつあるという感じを受けている。ほとんどが高校生の深夜徘徊で、去年より増加している。先ほど金谷山の話が出たが、たむろしている、うるさいバイクが走っている、車がうるさいという苦情が来るのだが、警察が行く頃にはもういなくなっている。それが少年なのか、大人なのか今のところは分からない状況である。多分、あのいたずら書きとかは、少年なんじゃないかと思っているが、全く情報もなく、今のところは分からない。補導の数は増えているが、万引だとか、自転車盗で検挙した少年は24人で、前の年と同じ数で、検挙件数は減少傾向である。管内は少年の大きなトラブルもなく推移している。先ほどトイレの話が出たが、中に人が長くいるということなら、もしかしたら具合が悪いかもしれないという観点から、管理者、駅であれば駅員に声をかけて様子を見てくださいとお願ひするのが一番いいと思う。特殊詐欺の話だが、上越署管内22件、1億1千3百万超えて、令和3年が11件なので件数は倍増で、金額は7千万円以上増加という被害が出てしまった。多くは架空請求で、料金が未払いだとか、パソコンでウイルスに感染したのでここに電話してくださいとかいう画面が出て、電子マネーをコンビニで買って支払ってしまうというのが非常に多かった。8割方、こういった被害である。コンビニで最高額5万円の電子マネーを総額1千万円近く買っている。もう上越市内だけでなく、いろんなところへ行って買って、それで支払ったという被害もあつ

た。その他多かったのが還付金だ。特に多かったのは市役所の「山本」と語った男からの電話である。還付金があると言って ATM へ行って手続きしてくれというもので、電話で指示されて、こういうふうに打ってくださいと言われ、相手の指定した口座に例えば限度額百万円まで振り込める人は、99 万 8 千 7 百円とかを振り込ませる手口だ。新潟県全体でかなりの被害が出ている。管内では、オレオレ詐欺は少なかったが、新潟あたりは結構またオレオレ詐欺が発生している。今は、ほとんどは電話がかかってくるのではなく、ショートメッセージだとか、パソコンだとかで未払い金があるというので被害に遭う。すでに今年に入って 2 件の被害が出ている。色々なところで流行っていて、誰もが被害に遭うということをお知らせ頂ければありがたい。

(4) その他（公開）

（意見なし）

9 問い合わせ先

上越市教育委員会社会教育課 青少年健全育成センター

Tel : 025-544-4690（内線 3003）

E-mail : keniku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。